



鈴カステラ作り



みんなで
楽しい時間を過ごしました



6月の行事

1日	リムジカ (午後2時)
2日	職員健康診断 (午前中)
4日	家族懇談会 (午前本館・午後新館)
8日	長谷川歯科訪問診療 (午前中)
9日	ホーム喫茶 (午後2時)
10日	料理クラブ (おいなりさん)
13日	理容 (午前中)
15日	リムジカ (午後2時)
	長谷川歯科訪問診療 (午前中)
17日	みゆき会 (手品等) 午後1時45分～
20日	ピッコロ音楽会 午後1時45分～
	職員自主研修会 午後6時30分～
22日	長谷川歯科訪問診療 (午前中)
23日	茶道クラブ (午前10時)
	シェアリングフラダンス 午後1時45分～
28日	本館新館合同避難訓練 (午後)
29日	長谷川歯科訪問診療 (午前中)

家族懇談会 & お茶会

6月4日の家族懇談会 & お茶会

楽しみにしております。ぜひ、昔のお写真が
ありましたら、お持ちください。

「認知症になっても、人の役に立つことは大切」
夕方になると、
「洗濯物は大丈夫？」「お風呂は沸かしたのか？」「夕飯はどうするんだ」と、同じ時間に何回も同じ話をされる方がいらつやいます。
その背景をその人の生活歴から考えると、
「認知症になるまでずっと、自宅で家事や育児に精を出されていた方」なのだろうと思いを馳せることができます。
認知症になると一方的に「手助けされる人」と周囲の人から認識されてしまいます。もし、みなさんが障害を持って一方的に手助けされるような状況に置かれたらどんな気持ちになるでしょうか？ 介護されているだけで、何にもやらなくていいと言われたら、だんだんと生きていく意欲もなくなってしまうのではないのでしょうか。
また、介護する側の「介護してあげている」という態度が、その人の生きてきた人生の役割さえも奪っていくことになりかねません。人間は人の役に立つことで生きがいを感じ、自尊心が高まります。認知症になってもその人は「人の役に立ちたい」と思っているはず。認知症の人が人の役に立って、必要とされていることを感じられ、生きがいにつながり、認知症の人も、周りの人も笑顔になれるケアが大切ですね。

